

理科学習指導案

単元名：「天気の変化（２）」

授業日時 2019年8月29日（木）第3校時

授業学級 5年東組

授業会場 理科室

授業者

（全4時間扱い中 第2時）

指導者

（1）ねらい

児童は、台風と自分の生活体験を結びつけ、台風によって強い風が吹いたり、雨が短時間で多量に降ったりして災害を起こすことがあることを理解する。

（2）授業のポイント

- ・台風の数日間の雲の量や動きに着目して天気はおよそ西から東へ変化していくという規則性が当てはまらないことを捉えた。【前時までの子どもの様子】
- ・台風に関するニュースを見る活動や台風で体感する風や雨の音を聞く活動を通して、台風が起きた様子、すなわち天気の変化を児童がイメージしやすいようにし、必要感を感じられるようにする。【授業者の手立て】

（3）展開

過程	学習活動	○授業者の主発問・◎生徒の反応・◇留意点・★教材	時間
導入	1. 台風が起きると、どのようなことが起こるかイメージする。	○「この音は台風の時の音です。この時、外ではどのようなことが起こっていると思いますか？」 （意図）児童が自分の生活体験と結びつけ、台風の起きた様子をイメージする。 ◎強い雨が降っていると思う。 ◎傘が飛ばされている人がいる。 ◇イメージであるため、児童の世界観を大切にする。 ★台風の音を流す。	5
	問題：台風が起きると、実際に身の回りでどのようなことが起こるのだろう。 2. 見通しを立てる。	○「台風が来た時、実際に身の回りでどのようなことが起こるのだろう。」 （意図）児童が台風の起きた様子を具体的にイメージできるようにする。 ◎雨が強く降って、川の水が増えていたよ。 ◎テレビで木が大きく揺れて倒れているのを見た。 ◎実際にもっとどのような災害が起こるか調べて見たいな。 ◇台風が私たちにとって身近なことであると気がつけようようにする。 ★台風のニュースの映像を見る。	5
【学習課題】「台風によって強い風が吹いたり、短時間で多量の雨が降ったりしてどのような自然災害が起こるのか調べよう。」			

展開	3. タブレット端末を用いて調べる。	○「台風がもたらす自然災害をタブレット端末を用いて調べよう。」 （意図）児童が活動内容を理解できるようにする。 ◎土砂崩れがおこってしまうね。 ◎雨が多量に降ることや強い風が吹くことで、高波になることがあるのだね。 ◇調べ活動の前に、どのようなキーワードで調べられるか確認する。 ★ワークシートに調べてわかったことを書けるようにする。	15
	4. 全体で調べたことを共有する。	○「台風によって起きる自然災害について、調べたことをみんなに伝えよう。」 （意図）調べたことを他者に伝えるために言語化し、また聞く側の知識を増やせるようにする。 ◎○○さんと同じことを調べたよ。 ◎自分は○○さんの調べたことを初めて知ったよ。 ◇自分の調べたことに加えて、新たに知ったことをワークシートに書けるようにする。	5
	5. 台風が起こったら、どのような備えができますか。	○「夏休みに一人で家にいる時に、大きな台風が来る予報です。その時、みんなはどのような対策をしますか。」 （意図）児童は自分の生活と結びつけ、天気の変化の様子の調べ方（情報収集の仕方）も考慮して考える。 ◎家から出ないようにする。 ◎窓を閉めるようにしたいな。 ◎ニュースを見て情報を得る。 ◇家族と、だけではなく、自分自身がどのように行動するのか考えられるようにする。 ◇道徳の学習「命を守る防災訓練」と関連させる。 ★ワークシートに書けるようにする。	10
【評価（対象）】 台風によって強い風が吹いたり、短時間に多量の雨が降ったりして災害を起こすことがあることを理解する。（ワークシート）			
終末	6. 本時の振り返り	○「今日の授業で感想、わかったこと、疑問に思ったことをワークシートに記入しましょう。」 （意図）本時での学びを振り返り、次時への願いを持つことができるようにする。 ◎どのような自然災害が起きるかわかったよ。 ◎台風が起きたら私たちはどのようにするべきか考えることができたよ。 ◎台風への備えは他にもあるのか調べてみたいな。 ◇数名が発表し、学びを共有する。 ★ワークシートに振り返り記入、回収する。	5